

思いやり



暑い暑いと言いながらも朝・夕の風はだいぶ秋めいてきました。

すでに立秋も過ぎ、もうすぐお彼岸。”暑さ寒さも彼岸まで”とは言うものの、まだまだ日中の日差しは強烈です。最近の気候は何かおかしい？まるでスコールのように瞬時に大雨が降ったり、竜巻の様な大風が吹いたり、大型の台風が発生したり、これも異常気象のせいなのでしょうか？

そんな暑い日、市営地下鉄に乗った時にふと気が付きました。いままで全席が”優先席”だったはずの座席が”譲り合い席”に変わっていたのです。優先席についてはいろいろな考え方があり、

私自身そのことに疑問を感じることもありました。高齢者と思われる人に席を譲る人、そしてそれを断る人。よく目にする光景です。双方の気持ちも分からないではないけれど、お互いにお互いを思いやる気持ちがもう少しあればその場の空気も”何だか気まずい感じ”にはならなかったのではと思うのです。人の気持ちを察すること、人に思いを伝えることが”譲り合う”事なのだと感じました。”譲り合う”素敵な言葉だと思いました。そこには、人が人を思いやる気持ちがあります。

そして思いやる気持ちは決して座席に限られた事では無く友達、恋人、親子、夫婦等々いろいろな人間関係に於いて必要な事と思います。想いを伝え合い、そしてそれを理解し合いお互いに受け入れる。つつい自分中心になってしまう事が多いなかで、相手を思いやる気持ちを大切にしたいと思います。

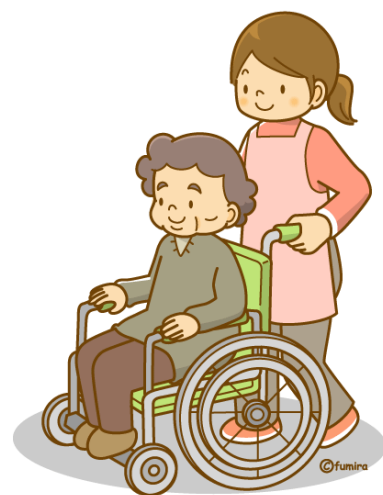
相手を認め、理解し、許しあえるそんな人間関係のある職場環境を作って行きたいと思っています。

この施設で生活をされている方、通所リハビリに通われている方に思いやりの心をこれからも届けて行きたいと思っています。どうぞ私たち職員にその想いを伝えてください。ご希望にどこまで添えるか分かりませんが、出来る限りのご協力をさせて頂きたいと思っています。

新しい明日への第一歩となるために声を掛け合いながら笑顔で日々が過ごせますように、職員一同頑張っていきたいと思っています。

これからもよろしくお願いいたします。

介護課長 荒山



2012 ケアポート 田谷夏祭り

残暑厳しく、暑い日が続いていますね。今年も夏を彩る一大イベント”ケアポート・田谷夏祭り”を8月5日に実施しました。天候に恵まれすぎ、一雨欲しいぐらいの気温での開催でしたが皆様方には大いに楽しんで頂けたものと思います。ここに、写真と共に当日の雰囲気をお届けしたいと思います。

早朝から「今日も暑くなるよ！」と知らせるように蝉が鳴く。風がピタリと止んだ。猛暑の一日が始まる。

今日は、毎年恒例の夏祭り。朝から、屋台のテント張りに汗を流す男性職員の姿が、いつもより少し頼もしく見える。色々な屋台が、あっという間に完成するのを、上から眺めていたO氏「出来たね、早いね」と関心。「今日の女性職員は、浴衣を着て艶やかですよ」と職員が話すと「ビールもあるの？」とつれない返事。



夏祭りの時間が近づくと、心なしか上気した様子で、いそいそと祭りの法被を着用する。「もうすぐ始まりますよ、お祭りだからお化粧しましょう」との声に頬紅を付け、唇に紅を差し、鏡を照れながら覗き込むAさん「頬紅だけで変わるのね」とニッコリ。会場に出ると祭囃子が聞こえ、その音色は一瞬にして童心へ戻す不思議な力がある。屋台の前で「何にしようかな？」はにかんだような表情。「どうもろこし売れないよ。Aさん、買ってくださいよ」の声に素通り…

「私、焼きそばが食べたいのよ」悪戯っぽく笑う。

夕暮れには恒例の花火。3階から見下ろす花火に目を凝らし「綺麗だね」とつぶやくMさんに「いつもは横になっている時間だから眠くないですか？」と尋ねると「大丈夫よ」見つめる先の花火に、願わくば心浮き立つ思い出に心を馳せ、

楽しかった一日の終わりでありますように…と心から願うばかり。

ポンポンと花火の音、夏の音が鳴り響く。花火の光は、童心に戻った多くの表情を照らしていた。

3F 介護 田山



今年の夏祭りは、計画停電や天気の心配もなく行うことができました。

ご利用者の皆様も屋外に出て「暑いねー」と言いながら家族



や職員と楽しい時間を

過ごす事が出来たと思

います。屋台のメニュ

ーも昨年にはなかった、

フライドポテト、おでん、

わたあめ、手作り梅酒

などを取り入れてみました。ゲームの景品も作業リハで作っ

た作品を提供し好評だった

様子でした。来年も新しい

企画を考えて、皆様の笑顔

が見られる様に実行委員、職員一同頑張っていきたいと思っています。



2F 介護 寺島



「あと 10 分程でお伺い致します」と車の中からの電話。いつもなら、朝、繰り返される光景ですが、8月5日は、夕方4時以降から始まりました。そう、この日は、ケアポート・田谷の夏祭り。ドライバーも職員も法被を纏っての訪問です。「暑いのに悪いねえ」「大変な思いさせちゃったね」「誰が来るの?」「何を食べようかな」車中では思い思いの言葉が飛び交います。「お待たせしました。到着です。」いつもの駐車場は、大変身。屋台が並び、提灯に薄明かりが灯り、人々の笑顔に溢れ、お祭りの熱気が満ち満ちています。この雰囲気伝わる様にとデイケア利用者の方には、お祭り会場が見える会議室で寛いで頂きました。作品展示も行い、沢山の方々に活動の様子もお伝えする



事も出来ました。記念撮影、西瓜割り、輪投げ、風船釣り、ほんの、一時ではありましたが、「楽しかったよ。ありがとう。」の言葉と共に終える事が出来ました。

通所リハ 岩谷



参加しました 第10回 横浜市介護老人保健施設研究大会

今年で 10 回目となる介護老人保健施設研究大会が、7 月 7 日にパシフィコ横浜で開かれました。当施設も技術・知識の研鑽を目的に、昨年から発表を行なっております。今年も 2 つの研究発表を行いましたので、発表を行った 2 つのグループに感想を述べてもらいます。

○発表タイトル「当施設の事故軽減の取り組み」

2F 介護 中山 斎藤 須永

事故報告書のデータを使い発表に望んだのですが、分析を進めると思わぬ結果となったり、どうすればこの施設を知らない聞き手に理解できる内容になるのかと悩んだりしました。しかし、職員の皆様のご協力で発表にこぎつける事ができ、とても感謝しております。また、私はあまりできませんでしたが、もっと計画的に意見交換できれば、より有意義な発表を提供でき、かつ施設全体のチームワークの活性化に貢献できる良い機会であると感じました。



○発表タイトル「万華鏡を夢見て」～生きがい作りを応援したい～

通所リハ 木村 大塚 上野

7月7日、七夕の日に私たちデイケアは、横浜市介護老人保健施設研究大会に臨みました。

毎年パシフィコ横浜で行われるこの発表会に、今年は見学でなく発表者として参加することになり、およそ1年掛けて議題に取り組んできました。その集大成となる大会でしたが、大きな会場を前に緊張はピークに。何度も繰り返し行ったりリハーサル通りに行えるのか、という不安の中、発表の順番を迎えました。

結果は、満足のいく発表を行うことが出来、沢山の拍手も頂く事が出来ました。

ただ、この取り組みは、職員自身の勉強であると同時に、利用者様により良い生活を送って頂く為に取り組んだもので、発表が終わった今も、試行錯誤を繰り返し続けています。また来年も、この老健大会に参加しようと考えています。

今よりも充実したデイケアを目指し、頑張っていこうと思います。



美味しいピザのできあがり。



美味しいピザトーストが出来ました。
お味の程は、写真に写っている皆様の笑顔が証明しています。
この味の秘訣は..
ピザトーストに
使っているトマト。

実はデイケアルームでペットボトルを利用し、栽培したものなんです。
皆様で手塩に育てたトマトを材料にしたピザ。美味しくて当然ですね。

